



平成16年度現職者講習会のお知らせ

学術局長 長谷川 至
研修部 佐井川匠秀

恒例となっております、青森県士会担当の現職者講習会を下記の通り開催いたします。会員の皆様のご応募をお待ちしております。

尚、参加を希望される会員は6月末発刊予定の「理学療法学」掲載の協会ニュースを参照し、必要事項を記入の上往復ハガキにてお申込み下さい。

- 記 -

PNF - 基礎編 -

日 時：平成16年9月24日（金）～26日（日）

内 容：PNF法の講義及び実技（講義3日目は患者を対象としたデモを予定）

講 師：高橋 護（湯河原厚生年金病院）

会 場：青森県立保健大学など

受講費：20,000円（情報交換会費、昼食代を含む）

定 員：20名（締切まで受付し後日参加者に連絡致します）

申込先：〒030-0133 青森市雲谷字山吹93-1

（医）芙蓉会 芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL 017-738-2214 FAX.017-738-2249

E-mail:fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

尚、宿泊の斡旋などは行っておりませんのであらかじめご了承下さい。

締 切：平成16年8月20日（金）

尚、この講習会は新人教育プログラム「理学療法の専門領域」及び生涯学習プログラムの単位認定（生涯学習プログラムは2単位）対象となります。

新入会員の皆様へ

今年も多くの新しい仲間が入会されました。先日、ガイダンスが行なわれ、全員参加されたことを大変うれしく思います。あらためて歓迎をいたします。本県でも、PT 会員数は年々増加しています。私の職場でもこの4年間で7人増えました。卒後の数年間は様々な経験をされることと思います。社会人として新たな出発です。成功や失敗が繰り返され、人間的に大きく成長してください。同時に、時の過ぎる速さにも気づきます。毎日、ただ流されるのではなく、目標を持つことが大事

県士会会長 伊藤 和夫

と考えます。限られた時間では、そんなに多くのことはできないかもしれません。自らの目標がどんな結果になり、それが何の価値かは、なかなか見えないものです。それは、挑戦というのかもしれませんが。常に課題を追求することが役割なのかもしれません。これからの県士会活動を担う皆様に大いに期待いたしております。

新人ガイダンス所感

黎明郷リハビリテーション病院 岩谷 奈津子

国家試験に無事に合格することができ、平成16年4月24日に八戸市で開催された青森県理学療法士会新入会員ガイダンスに参加させていただきました。3月に大学を卒業して以来、久しぶりに同級生や先生方に会えるということを楽しみにすると同時に、初めての研修会参加ということで少し緊張して望みました。

会場の八戸市民病院に到着すると、知っている顔もちらほらみられ、久しぶりの再会に話がはずみました。参加者全員が集合した後、新入会員の自己紹介がありました。名前と出身校、勤務先を言うだけでしたが、なれない雰囲気異常に緊張し、他の新入会員の方たちの顔、名前をあまり覚えられませんでした。それぞれ職場は異なりますが、今後さまざまな機会を通して情報交換を行うなど交流を深めていければよいと思いました。

新人ガイダンスでは、新人教育プログラムや青森県理学療法士会の組織についてご説明いただき

ました。県士会に対する理解が少し深まったとともに、自分たちもその一員になるのだと実感しました。新人教育プログラムの中では、さまざまな分野の研修会に参加することに加え、学会・定例研修会での発表を行うことが単位認定の条件であるとの説明がありました。今年度中に単位を取得するようにとのことでしたが、テーマなどまだ全く思いつかない状態です。まずは一日も早く業務に慣れ、臨床現場で多くの経験を重ねていきたいと思えます。加えてできるだけ多くの研修会・勉強会に参加し、知識・技術も身に付け、それらの中から自分で興味のあるテーマを見つけていきたいと考えています。

未熟な点ばかりでご迷惑をおかけすることと思いますが、何事にも積極的に学ぶ姿勢を持って取り組んでいきたいと思っておりますので、先輩理学療法士の皆様、ご指導よろしく願いいたします。

青森県士会新人歓迎懇親会に参加して

シルバー病院 菅原千恵子

懇親会に出席し、全体を通して感じたことはとても楽しかったということです。私は青森県出身ですが、岩手県盛岡市の学校に通っていたため、知っている先生方があまりいませんでした。そのため、最初は同じテーブルの先生方と話しをするのが精一杯でした。懇親会が進むにつれゲームが盛り上がり、進行の青森労災病院の中村先生に指名して頂いたり、他の先生方と一緒に考えながら楽しむことが出来ました。他の先生方とお酌を交わしたり、話をさせて頂く機会があり、徐々にではありますが、懇親会開始より先生方の名前や顔を覚えられたように感じています。しかし、全ての先生方と話をすることが出来なかったことが残

念です。

懇親会が始まるまでは、県士会の先生方はどのような方々なのかという期待と不安がありました。ガイダンスを受けていたときは、真面目な先生方ばかりのように感じていました。しかし、懇親会では楽しく話しをしたり、お酒を飲んでいる姿を拝見し、真面目な面ばかりではないことが分かりました。そして、この先生方とであれば、これから県士会で上手くやっていけるのではないかと希望が湧いてきました。至らないところが多々あると思いますが、これから様々な場面でお世話になると思います。そのときはご指導・ご鞭撻宜しくお願い致します。

新入会員紹介（東青・むつ下北地区）

むつ総合病院 川原田雅志

初めまして、むつ総合病院の川原田雅志です。東通村出身、23歳、出身校は東北文化学園大学です。卒業して3ヶ月が過ぎ少し仙台が恋しいですが、地元の人に接し、患者さんと話をすると、やっぱり地元に戻ってよかったと感じています。はじめは不安が多く、PTとして働けるか心配でしたが、実際に仕事をして患者さんの笑顔を見ると、やっぱりPTになってよかったと思えることが今一番ほっとしています。まだまだ知識も技術も未熟で不慣れなこともたくさんありますが、この仕事が自分にとって天職だと胸を張って言えるようにがんばっていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

青森慈恵会病院 二宮竜司

年齢：24歳
生年月日：昭和54年9月3日
出身地：神奈川県伊勢原市
出身校：東北文化学園大学
所属：青森慈恵会病院
趣味：昼寝
好きなもの：ラーメン、メロンソーダ
嫌いな物：野菜全般
一言：神奈川県からきて、まだ青森の地で冬を過ごせるか自信がありませんが、寒さに負けずに身を粉にしてがんばりたいと思います。

村上病院 盛田知佳

はじめまして。もりたともかです。芙蓉会村上病院に勤務しています。青森での生活一年目の青森新人です。出身は栃木県、大学は埼玉県なので、「海が近い」のは、なんだか不思議です。早く車を買って、いろんな所へ行って、青森を満喫したいです。ところで、私はゼリーが大好きです。よくボールいっぱいにつくって、スプーンですくっては食べ、すくっては食べ、しあわせに浸っております。大学生のとき、ゼリー（だけ）をタッパ-につめて（大量）お弁当に持っていったら、友達に怒られました。最近は、健康を考えて「寒天計画」を立てています。これから精進していきたくと思いますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

青森慈恵会病院 三関志乃

年齢：22歳
生年月日：昭和56年7月30日
出身地：北海道福島町
出身校：北海道旭川市 北都保健福祉専門学校
所属：青森慈恵会病院
働いてまだ1ヶ月しかたっていない戸惑いは多いですが、PTとして責任を持って働きたいと思っています。宜しくお願い致します。

青森県スポーツドクターの会 トレーナー部会入会のご案内

青森県立保健大学 三浦 雅史

会員におかれましては、日頃より本会の活動にご理解・ご支援頂き誠にありがとうございます。本会も昨年の設立総会を皮切りに、研修会やトレーナー活動を無事終了することができました。本会は170名以上の会員を有し、うち理学療法士は70名を超える会員が入会しております。

本トレーナー部会の設立趣旨としましては、青森県の「スポーツの普及・振興」、「競技力向上」にトレーナーという立場から寄与することにあります。

なお、主な事業としては、

1) 定期的な研修 講習会を開催し、約2年間の課程を修了することで、「認定アスレティックトレーナー」を養成すること。

本年度の研修会の予定は、

・7月24日(土):アスレティックトレーナーによる講演会(於:青森県立保健大学)

・11月6(土)、7日(日):アスレティックトレーナー養成講習会(於:岩木青少年スポーツセンター)

・2月26(土)、27日(日):アスレティックトレーナー養成講習会(於:八戸市、詳細未定)

2) 国体、三國体などの各種大会や強化合宿などへのトレーナー派遣

・現在、高体連・中体連などからトレーナー派遣依頼が来ています。

となっております。多くの方々の入会をお願い申し上げます。

1. 入会および参加方法

年会費:1,000円

別紙の「会員申込書」に必要事項を記入し、下記申込先まで郵送、FAX またはメール(メールの場合は、申込書の内容を明記)で申し込み下さい。

2. 申し込み締め切り

入会に関しては、随時受け付けています。下記の問い合わせ先にご一報下さい。

3. その他

・研修・講習会につきましては、当日参加費を徴収することもありますので、予めご了承下さい。

・その他、ご不明な点、ご意見などありましたら下記までお願いいたします。

【連絡先 問い合わせ先】

青森県立保健大学 三浦 雅史

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL・FAX 017-765-2082 (ダイヤルイン)

E-mail mmiura@auhw.ac.jp

介護予防 (高齢者筋トレ事業) に興味のある理学療法士募集

青森県立保健大学 三浦 雅史

この度、青森県理学療法士会では青森県健康福祉部の委託事業として「ぴんぴんすこやか事業 - 高齢者杖なし支援塾 -」を実施することとなりました。本事業の概要としては、介護予防の一環として進められている高齢者に対する筋力トレーニングを「要介護 1、2、要支援」の高齢者に理学療法士が中心となり実践し、その効果を検証するモデル事業です。本事業に興味のある理学療法士を広く募集致します。

- 1.活動時期
平成 16 年 8 月中旬～ 11 月末まで。週 2 日 (日中)、ただし、土・日を除く。
ただし、一部のみ参加や週 1 日の参加等も受け付けます。
- 2.活動内容
参加された高齢者の理学療法評価、筋トレ指導、疼痛管理など
- 3.活動場所
青森県立保健大学 (青森市)
- 4.待遇
青森県規定の日当、交通費などを支払います。詳細はお問い合わせ下さい。
- 5.その他
その他、ご不明な点などありましたら下記までお願いいたします。

【連絡先・問い合わせ先】

青森県立保健大学 三浦 雅史
〒 030-8505 青森市浜館間瀬 58-1
TEL・FAX 017-765-2082 (ダイヤルイン)
E-mail mmiura@auhw.ac.jp

理学療法研究第22号 (2005年3月発行予定) の投稿募集のご案内

学術局学術誌編集部 長谷川 至

理学療法研究第 22 号 (2005 年 3 月発行予定) の原稿を募集致しております。投稿を希望される方は、理学療法研究第 21 号の投稿規定および執筆要綱 p51 ~ 53 をご覧頂き、締め切り日までに原稿を下記投稿先に郵送にてお送り下さい。なお、投稿原稿のフロッピーディスクについては、校閲後にあらためて提出 (11 月上旬) して頂きますので、その旨よろしく願いたします。

投稿締切日：2004年9月30日 (木) 必着

投稿先・問い合わせ先

〒036-8564 弘前市本町 6 6 - 1
弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内
青森県理学療法士会学術局 学術誌編集部 長谷川 至 宛
TEL & FAX : 0172-39-5981
E-mail : pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成16年度青森県理学療法士会研究助成公募のお知らせ

学術局々長 長谷川 至

青森県理学療法士会では、士会員の積極的な研究活動を推進および支援することを目的に、一昨年度から研究助成制度をスタートさせました。

これから研究を新たに始めようと考えている方、これまでの研究を継続しようと計画している方は振るってご応募ください。多くの士会員、中でも若手のエントリーをお待ちしております。

【16年度研究助成のQ & A】

Q 1 . どんな研究テーマなら応募できるの？

理学療法の発展に寄与・貢献するものであれば、テーマ（実験，調査，社会活動の効果などに関する研究）は特に問いません。

助成選考対象となるテーマについては、遠慮なくお問い合わせ下さい。

Q 2 . 応募資格は？

応募者または研究代表者は青森県理学療法士会会員でなければなりません。

Q 3 . 助成額はいくら？

助成総額は10万円です。助成額は選考委員の審査をもとに決定されます。

Q 4 . 助成件数は？

応募状況にもよりますが、2件までとします。

Q 5 . 助成金の使い道は？

研究に必要と認められる経費、例えば消耗品費、機材購入費、打ち合わせ経費、研究協力者へのお礼（被験者等への謝金）等であればOKです。ただし、学会や研修会等への旅費や参加費として使うことはできません。また、機材購入のみを意図した使い方はできません。

Q 6 . 選考委員は誰？

選考委員は、研究助成選考委員5名（学術局長を含む）内規により学術局長が選任する。

Q 7 . どうやって選考するの？

選考委員5名がそれぞれ提出された書類内容を審査し、最終的に合議により採択するかどうかを決定します。選考結果は学術局から各応募者に通知され、また、青森県理学療法士会ニュースにも掲載されます。

Q 8 . 研究助成を受けた場合に遵守しなければならないことは？

以下の～を遵守しなければなりません。

平成16年度青森県理学療法士学会での研究成

果発表

「理学療法研究」22号（17年3月発行予定）または23号（18年3月発行予定）への論文掲載

収支報告書の提出（学術局長宛、様式3-1、2を使用のこと）

Q 9 . 今後のスケジュールは？

応募期間：平成16年4月1日～6月18日

選考期間：平成16年6月21日～6月30日

研究期間：平成16年7月1日～平成17年1月31日

収支報告書提出：平成17年2月6日まで

研究発表：平成17年3月開催予定の青森県理学療法士学会

論文投稿：「理学療法研究」22号または23号の投稿規定に従う。

【応募要領】

1) 提出書類

ニュース巻末の様式をコピーするか、県士会ホームページから様式をダウンロードして、提出書類～を作成して下さい。

または、下記問い合わせ先に応募書類を請求してください。

研究計画書1部（様式1）

予算書1部（様式2）

2) 提出期限

平成16年6月18日（金）必着

3) 提出および問い合わせ先

学術局長（長谷川）まで、郵送またはE-mailに添付して提出してください。

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻

長谷川 至 宛て

TEL & FAX : 0172-39-5981

E-mail : pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

【事務局通信】

< 会員動向 >

新人会員（18名）

河原田雅志（むつ総合病院）、二宮竜司（青森慈恵会病院）、三関志乃（青森慈恵会病院）、柳沢恵（あおもり協立病院）、盛田知佳（村上病院）、矢吹勇太（自宅 保健大学大学院）、飯高恵子（黎明郷リハビリテーション病院）、岩谷奈津子（黎明郷リハビリテーション病院）、沢目紘子（弘愛会病院）、小野寿子（自宅 弘前大学編入）、浅田恵（なかざわ整形外科クリニック）、葛間翔（なかざわ整形外科クリニック）、下村万里江（なかざわ整形外科クリニック）、岡元紗矢香（八戸赤十字病院）、平加緒理（八戸赤十字病院）、菊池芳香（シルバー病院）、菅原千恵子（シルバー病院）、中島晴佳（老人保健施設みのり苑）、岩織好信（室岡整形外科）

転入会員（2名）

上原毅（自宅 弘前大学編入）、榎館強拓（公立七戸病院）

県内異動会員（6名）

佐井川匠秀（芙蓉会病院）、池田史花（県立はまなす学園）、三上裕子（青森敬仁会病院）、郡川明子（十和田市立中央病院）、加藤義人（なかざわ整形外科クリニック）、横山恵理（県立さわらび園）

転出会員（2名）

渡辺陽介（函館厚生院ななえ新病院）、木戸脇奈々子（盛岡友愛病院）

休会新規会員（4名）

三上一貴、外崎直美、西塚真弓、小野佳織理

以上、4月15日現在（敬称略・順不同）

異動の時期となりました。

異動のある方は異動届を事務局まで送付してください。

【財務部通信】

会費自動引き落とし者へ

平成16年度の自動引き落としが5月27日(木)に行われました。 引き落とし不能者 と 引き落とし以外者 は下記へ振り込みをお願いします。

会費納入方法は下記の通りです。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 平成16年度会費 1名分 佐藤洋 8692 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい（昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれば送付します）。また、どうしても6月15日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい（振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む）。どうぞ御協力をお願いします。

不明な点は 黒石病院リハビリテーション科
佐藤 洋

TEL 0172-52-2121(217)

【ニュース編集部通信】

今回の原稿締切は、平成16年 6月 22日(火曜日)です。
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当に
フロッピーディスク、FAX、E-mail のいずれかにて締切をご確認の上、お早めに送付下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~aomoript/index.html>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：須藤 宗（あすなる学園）

〒 038-0003 青森市石江字江渡 101 TEL 017-781-0174 FAX 017-766-4396

E-mail：ptasunaro@hotmail.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒 039-1161 八戸市河原木字八太郎山 10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail：ptsilver4000@yahoo.co.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒 038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添 30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail：reimeipt@h7.dion.ne.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

事務局ニュース編集部長；梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒 039-1522 五戸町字苗代沢 3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail：pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員；伴 久美子（黒石病院）

須藤 宗（あすなる学園）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

佐々木幸重（十和田東病院）

外交局広報部(HP 担当)；安田 友久（青森労災病院）

編集後記

ちょっとした用事で、仕事が終わってから五所川原市まで行かなければならず、碓ヶ関から高速道路で行くことにしました。五所川原市まで行くには、以前であれば浪岡インターで降りて国道101号線に入らなければ行けませんでした。現在は浪岡インターのところから五所川原まで「津軽道」という便利なものができているのを皆さんは御存知でしたか？でも、高速道路かと思いきや、実は制限速度は時速60km。気づいたときには、車のメーターは時速100km以上・・・もし、警察がいたら時速40km以上超えていたため免停だったかも！皆さんも標識はきちんと見ましょう。

（文責：藤田）

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内
〒038-1216

南津軽郡常盤村榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp

<様式1>

研究助成申請用紙（研究計画書）

青森県理学療法士会

申請者氏名		会員番号	
勤務施設名			
共同研究者氏名 （勤務先・職種）			
研究課題 （タイトル）			
研究の意義			
研究目的			
研究方法			
予想される結果			
倫理的配慮			

<様式2>

助成希望額と使途（予算書）

青森県理学療法士会

申請者氏名	
研究課題	
助成希望額	円（上限 100,000 円）

分類	項目	金額
消耗品費		
機材購入費		
打ち合わせ経費		
謝金		
その他の経費		

消耗品費：計測・記録用物品（紙・筆記具類、写真フィルム、視聴用テープ類、フロッピーディスクなど）

機材購入費：記録用または計測用機器、ソフトウェアなど

打ち合わせ経費：資料代、打ち合わせのための交通費

謝金：被験者へのお礼、物品借用に対するお礼

その他の経費：上記の範疇に含まれない支出（ただし、社会通念上妥当と認められる経費であること）、

なお、飲食費、学会や研修会等への旅費や参加費は認められない。

